

Sapporo Live Demonstration Course 2018 開催にあたって

この度、第15回目のサッポロライブデモンストレーションコースを開催するに当たり、コースディレクターを代表してご挨拶申し上げます。この夏は台風や集中豪雨による自然災害が多発し、この災害で被災された全国で多くの方々にお見舞い申し上げます。

このサッポロライブデモンストレーションコースは長くComplex PCIとPPIにfocusしたLive Courseとして一貫して取り組んできました。この15年間の間に新たなDES、治療device、治療テクニックが紹介され、PCI、PPI治療はめまぐるしい変化と進歩をとげてきましたがSLDCではその最新の治療を常に提示し、ライブ治療の中で議論できるよう取り組んできました。このような取り組みは北海道という地域においても、最新の治療を患者様に提供できること、全国に私どもの治療に対する考え方を発信することができたのではないかと自負しております。

今年からSLDCはより新たな方向性を示すべく、多くの道内の先生にプログラム委員に参加頂き、ビデオライブプログラムを含めた新しい企画を取り入れました。また、海外からのSLDCへの参加希望があることにお応えして、8/31のPCIライブでは同時通訳を初めて導入し、20名を超える海外facultyをお呼びし、より積極的に海外にも情報発信する所存でございます。

サッポロライブデモンストレーションコースは後世に繋ぐことを新たな目標に加え、新たなライブスタッフ一同でライブの内容の充実に取り組んでいきたいと考えております。

秋の気配始まる札幌の地で皆様のご参加を心よりお待ちしております。



Sapporo Live Demonstration Course 2018

CHIEF COURSE DIRECTOR

五十嵐 康己 (時計台記念病院)